

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立豊郷南小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和3年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査期日

令和3年5月27日(木)

#### 3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

#### 4 本校の参加状況

① 国語 98人

② 算数 98人

#### 5 留意事項

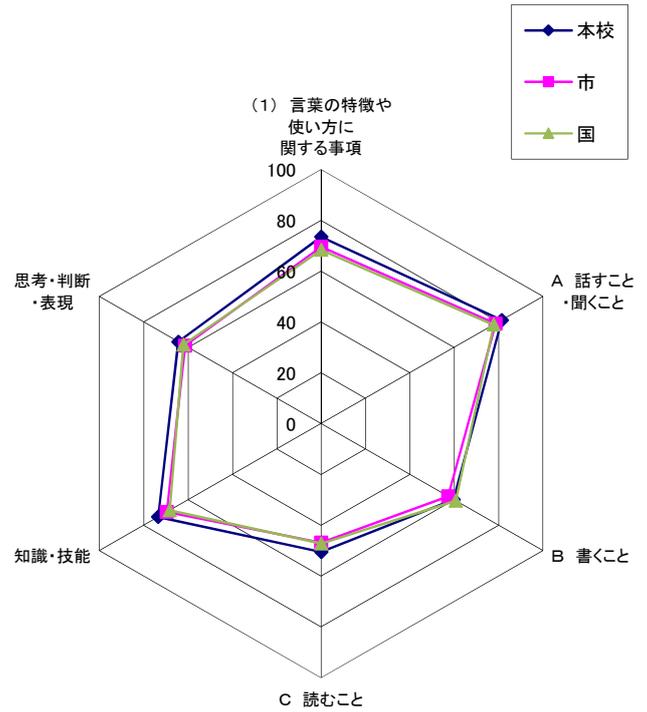
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

# 宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73.5	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方に関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	81.4	78.7	77.8
	B 書くこと	59.7	57.3	60.7
	C 読むこと	50.5	46.9	47.2
観点	知識・技能	73.5	69.6	68.3
	思考・判断・表現	64.4	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

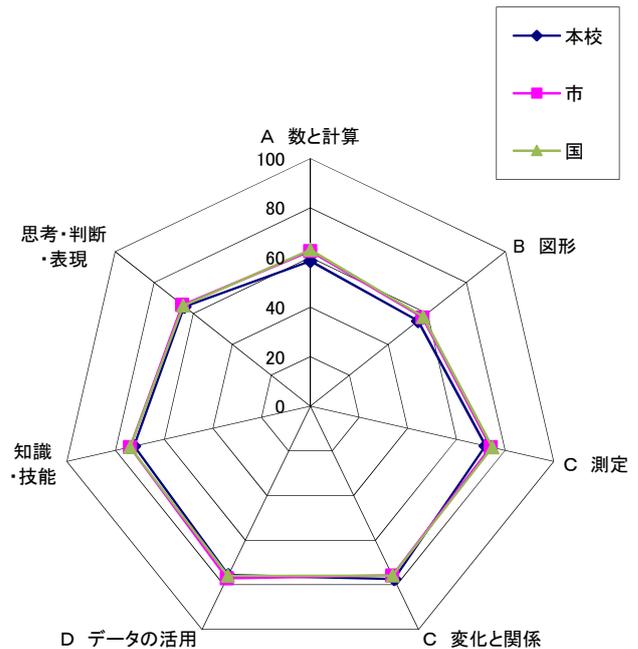
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、73.5%と国、市の正答率よりやや高い。</li> <li>○「漢字を使って書き直す」問題では、全国平均を12.4ポイント上回っているものもある。</li> <li>●「文の中で詳しくしている言葉として適切なものを選択する」設問では、全国平均と同程度ではあるが、正答率が46.2%と低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</li> <li>・学習した語句を確実に定着させるため、朝の学習や家庭学習などで、漢字練習に繰り返し取り組む指導を継続していく。</li> <li>・文の中における「修飾・被修飾の関係」を捉える活動を繰り返し指導していく。</li> </ul>
A 話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、81.4%と国、市の正答率よりやや高い。</li> <li>○「目的や意図に応じ資料を使って話す」設問では、全国平均を8.2ポイント上回っている。</li> <li>●「スピーチの練習で資料を使った理由の説明として適切なものを選択する」設問では、正答率が全国平均と同程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができ、良好な状況が見られるため、他教科等で生かしていく。</li> <li>・資料の効果的な活用法の理解が不足している。他教科等においても、目的に応じて、図表やグラフの資料を選び、引用し、まとめる指導を重視する。</li> </ul>
B 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、59.7%と国、市の正答率とほぼ同じである。</li> <li>○「文章の下書きの一部を担当者の話を用いて詳しく書き直す」設問では、正答率が60.2%と、全国平均と同程度である。</li> <li>●「文章の構成についての説明として適切なものを選択する」設問では、全国平均を5.7ポイント下回っている。また、無解答率も4.3%と全国平均よりも2.2ポイント高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるよう、条件などを設定して書く指導を今後も継続していく。</li> <li>・自分の思いや考えを書く際には、伝えたいことの原因を明確にし、伝えたいことが読み手に伝わるよう、文章の構成や展開を考え書く指導を工夫して、力を向上させたい。</li> </ul>
C 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、50.5%と国、市の正答率とほぼ同じである。</li> <li>○「目的に応じて文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」設問では、全国平均を10.8ポイント上回っている。</li> <li>●「目的を意識して中心となる語や分を見付けて要約する」設問では、正答率が28.0%であり、全国平均と同程度である。また、無解答率も7.7%と全国平均よりも2.0ポイント高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において、振り返りを自分の言葉を使って書く活動を行うことで、要点を押さえて要約する力を付けていく指導を繰り返す。</li> <li>・授業やテスト等で文章を読んだり文章問題を解いたりする際に、文章の中で要点となる部分に線を引く活動を行い、習慣化させることで、自分で文章の要点を見付けられるようにする。</li> </ul>

# 宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	58.6	62.6	63.1
	B 図形	55.2	57.5	57.9
	C 測定	72.0	74.1	74.8
	C 変化と関係	77.4	75.8	75.9
	D データの活用	75.7	77.1	76.0
観点	知識・技能	72.4	74.1	74.1
	思考・判断・表現	64.5	65.6	65.1
	主体的に学習に取り組む態度			



### ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、58.6%と国、市の正答率よりやや低い。</li> <li>○23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を求める設問では、正答率が81.7%と全国平均とほぼ同程度であった。</li> <li>●8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く設問では、全国平均を6.3ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面から数量の関係を認識することに課題が見られる。場面の状況を図や数値などに表し式を立てる力を向上させたい。</li> </ul>
B 図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、55.2%と国、市の正答率とほぼ同じである。</li> <li>●直角三角形を組み合わせた図形の面積を求める問題は、1.7ポイント下回り、二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積を求める設問は全国平均を2ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の高さと底辺の関係を正しく捉えることに課題が見られるので、デジタル教材などを活用し、図形を回転させるなどし、図形の底辺や高さの関係などを視覚的に捉えられるように指導する。</li> </ul>
C 測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、72.0%と国、市の正答率とほぼ同じである。</li> <li>○午後1時35分から50分後の時刻を求める設問では、全国平均を3.2ポイント上回った。</li> <li>●二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く設問では、全国平均を5.9ポイントを下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の状況に応じて、数量関係を解釈したり、式に表したりする活動を現実の日常生活で活用する機会を作ること、生活が便利になることが実感できるようにする。また、日常生活と他教科との関連を図りながら、長さや面積など量感を捉えることができるよう繰り返し指導する。</li> </ul>
C 変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の正答率は、77.4%と国、市の正答率とほぼ同じである。</li> <li>○500mを歩くのに7分かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く設問では、全国平均を5.1ポイント上回った。</li> <li>●二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ設問では、全国平均を1.2ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位量当たりの問題が身近な問題として考えられるように、様々な場面で関連させていく。</li> <li>・全ての授業を通して、判断した理由や問題を解決した過程を数学的に表現できるような場を設定していく。</li> </ul>

D データの活用	<p>・領域の正答率は、75.7%と国、市の正答率とほぼ同じである。</p> <p>○本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取る設問では、県平均を3.2ポイント上回った。</p> <p>●帯グラフで表された複数のデータを比較し、割合について記述する設問では、52.7%と全国平均とほぼ同程度であるが、正答率が低かった。問題文から必要な情報をくみ取るのに課題がみられる。</p>	<p>・資料から問いを見つけ、必要な情報をくみ取れるように問題文を繰り返し読ませ、活用問題に触れさせる時間を確保する。</p> <p>・社会科や理科など他教科との関連を図りながら、必要なデータをグラフに表したり、グラフを読み取ったりして、統計的な問題解決の力を養っていく。</p>
----------	---	--

## 宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年 児童質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「あなたは学校でコンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使っていますか。」の問いに関する肯定的回答は56.1%で、全国平均を17.1ポイント上回った。今後も様々な教科でのICT機器の活用を継続していく。

○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」の問いに対する肯定的回答は、65.3%で全国平均を12.9ポイント上回った。地域ボランティアの方と接しているために、意識が高いと思われる。

○「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」の問いに対する肯定的回答は、80.7%で全国平均を10.6ポイント上回った。授業におけるICT機器を使った意見交換や、ペア学習やグループ学習など形態を工夫しているため、楽しいと感じていると考えられる。

○「自分には、良いところがあると思いますか。」の問いに対する肯定的回答は、86.7%で、全国平均を9.8ポイント上回った。友達の良いところの発表などを行っている成果が出ていると思われるので、今後も自尊心を高める指導を継続していく。

○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の問いに対する肯定的回答は、87.8%で、全国平均を9.5ポイント上回った。授業での振り返り活動がしっかり行われており、それを基に次の学習に繋がっていると推測できる。また、ジャストスマイルドリルなどの繰り返し学習も効果的であると考えられる。

○「あなたの学級では学級生活をより良くするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか」の問いに対する肯定的回答は、87.8%で全国平均を14.4ポイント上回った。今後も、互いの良さを認め合う指導を継続していく。

○「国語の勉強は好きですか」の問いに対する肯定的回答は、72.4%で全国平均を14.0ポイント上回った。今後も指導方法を工夫し、児童が意欲的に学習に取り組めるようにしていく。

○「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか」の問いに対する肯定的回答は、89.8%で全国平均を15.5ポイント上回った。今後も、目的を明確にし、自分の考えを広げられるよう指導していく。

○「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」の問いに対する肯定的回答は、76.5%で全国平均を13.4ポイント上回った。今後も、規則正しい生活を送れるよう、家庭と協力して指導を継続していく。

●「新聞を読んでいますか。」の問いに対する肯定的回答は、8.2%で、全国平均を6.6ポイント下回った。様々な情報源があり、新聞を購読していない家庭が多いためと考えられる。学校で新聞を活用した学習を取り入れいることで、意識を高めていきたい。

●「これまで、学校の授業以外で英語を使う機会がありましたか」の問いに対する肯定的回答は、38.8%で全国平均を5.6ポイント下回った。日常で活用できる場面を紹介したり、端末のAI学習を活用したりして英語を使う機会を増やしていく。

## 宇都宮市立豊郷南小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
根拠を基に考え、伝え合い、深め合う算数科の指導に取り組む	・根拠を基に考える活動の充実を図る。 ・伝え合い、深め合う場面での数学的活動の充実を図る。	・質問紙の結果から、「話し合う内容を理解して、自分の考えを伝えたり、発表したりしている」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている」の肯定的割合は、全国の平均と比べると8～10ポイント高い。

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
考えを説明したり、書いたりする問題の正答率が低く、また無答率が高くなっている。 ・国語(作文・記述式) ・算数(説明) ・理科(説明)	自分の考えを説明したり、書いたりする表現力の育成を目指す。	児童の「考える」「伝える(書く)」ことの意識と実際の定着度の差がみられるので、授業の中で、自分の考えを文章や図などで説明したり、友達同士で伝え合ったりするなど、表現する場を更に意図的に位置付ける。